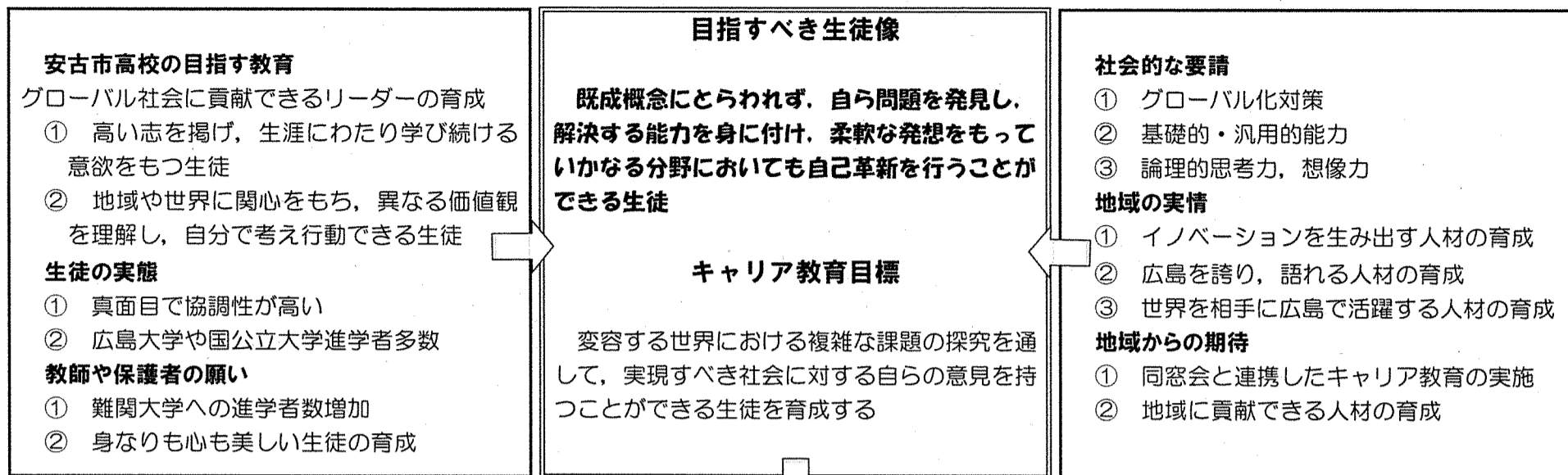


平成28年度 キャリア教育全体計画

校番51番 広島県立安古市高等学校 全日制課程 本校



各学年キャリア教育指導の重点目標		
1 学年	2 学年	3 学年
<p>重点目標：進路を探究する</p> <p>(1) 学習の基礎・基本となる学習習慣と学習スタイルを身に付ける</p> <p>(2) 学問や世界の変容に対する知識をもち、より高い進路目標を想定する</p> <p>(3) 興味・関心に応じて将来像「なりたい自分」を見出す努力をする</p>	<p>重点目標：進路目標を確立する</p> <p>(1) 自主的に学習計画を立て、実行する</p> <p>(2) 学習の基礎・基本を確立する</p> <p>(3) 進路目標を設定し、志望学部や学科群に必要な能力を確認する</p> <p>(4) 志望大学群を設定し、どのような学習が必要であるかを考えて計画し、実行する</p>	<p>重点目標：柔軟性をもって進路を実現する</p> <p>(1) 「生きる力」を礎に、学級や学年の仲間と切磋琢磨しながら、自己完成を図る</p> <p>(2) 設定した進路目標に対して、強い意志を持ち、受験生に求められる最大限の学習を行う</p> <p>(3) 現代の社会状況を把握し、進路志望を再設定し、変容する世界における就業・進学的心得等を身につける</p>
主な指導内容		
<p>① 自己を理解し、自分の将来像を考える</p> <p>② 学問や世界の変容に対する知識を持つ</p> <p>③ 文理選択を意識した進路学習を行う</p> <p>④ 学部・学科を研究し、受験に必要な能力を調べる</p> <p>⑤ 2年次における文理選択を行う</p>	<p>① 科目選択を意識した進路学習を行う</p> <p>② 修学旅行を活かした進路学習を展開する</p> <p>③ 将来の志望する進路先を想定する</p> <p>④ 複数の大学について研究し、実際の入試問題にあたる</p> <p>⑤ 希望進路先への志望理由書を作成する</p>	<p>① 世界の変容に対応するための能力とは何かを考える</p> <p>② 入試制度や受験のしくみ等を調査・確認する</p> <p>③ 「受験は団体戦」と認識し、クラスの雰囲気づくりに協力する</p> <p>④ 社会マナーや様々な状況に対応したコミュニケーション能力を身につける</p>

各領域における指導内容				
学年	教科	総合的な学習の時間	特別活動	分掌
<p>(1) 充実した学校生活支援</p> <p>① オリエンテーション合宿、ロングラン学習、学習合宿等</p> <p>(2) 保護者との連携の強化</p> <p>① 学年通信、学級通信、三者懇談会・懇親会等</p> <p>② webページによる情報公開</p> <p>(3) 生徒理解の深化</p> <p>① 綿密な個人面談の実施</p> <p>② 組織的なカウンセリングによるサポート体制の確立</p>	<p>(1) 論理的思考力表現力育成</p> <p>① 自発的学習態度を育成する教材課題の作成</p> <p>ex. 組織的小論文指導、外国語科によるスピーチ指導、英字新聞作成指導</p> <p>② 計画的な学習課題の提示</p> <p>(2) 学習意欲の喚起</p> <p>① シラバスを活用した授業</p> <p>② 計画的な補習・補充指導の実施</p> <p>(3) 教科指導力の向上</p> <p>① アクションリサーチ型授業研究、外部指導者招聘の公開授業</p> <p>② 生徒授業評価アンケート等</p>	<p>(1) 判断し・解決する力の育成</p> <p>① 『パネルディスカッション』</p> <p>(2) 在り方、生き方の考察</p> <p>① 『大学研究』・『学部・学科調べ』</p> <p>② 同窓生を活用した進路講演会等</p> <p>(3) 地域活用型の学習総合化</p> <p>① 世代間交流（同窓生・PTA・教職員・実習生等）を活用した他世代理解や多様な視点の育成</p> <p>(4) 表現力・コミュニケーション能力の育成</p> <p>① 『ステージリーディング』・『ディベート』</p>	<p>(1) 主体的な活動の支援</p> <p>① 生徒が創る文化祭による感動体験</p> <p>② 感性を養う諸生徒活動の実施</p> <p>③ オープンキャンパスへの参加</p> <p>(2) ボランティア活動の推進</p> <p>① 地域清掃等の社会貢献活動実施</p> <p>(3) 国際感覚・各種能力の伸長支援</p> <p>① オーストラリア短期留学</p> <p>② 英語検定への組織的な支援</p> <p>③ 校外各種コンクールへの参加</p> <p>④ 科学オリンピックへの参加</p>	<p>(1) 自己進路決定の支援</p> <p>① 多様な進路に対応した教育課程の開発</p> <p>② 進路意識高揚を図る外部講師授業や講演</p> <p>(2) 文武両道の支援</p> <p>① 学習や生活等の実態調査及び校内成績管理システムによる成績提示</p> <p>② 進路だよりを通して生徒・保護者への情報提供と啓発</p> <p>(3) 規範意識の育成</p> <p>① 挨拶指導の徹底</p> <p>② 身心ともに美しい生徒育成</p>

キャリア教育の評価方法	
アウトプット評価	アウトカム評価
各取組の実施後に、対象となる相手（生徒、教師、保護者）にアンケートや自己評価・相互評価を行い、年度や回をもとに比較・検証する。	必要に応じて発表の場（パネル・ディスカッションや小論文等）を設け、その成長を、生徒間や生徒と教師、教師間によってポートフォリオ等の手法を使い、評価する。

改善策の検討方法
<p>○ 学年や総合的な学習の時間、特別活動、分掌における各取組を、それぞれの取組や内容の終了後に、アンケートや自己評価をもとにして課題を発見し、その取組の有無や改善すべき点を検討し、それに代わる取組や改善策を、それぞれの学年会、分掌等で提案する。</p> <p>○ アクションリサーチという手法を用いて、教科における取組や授業の目標を設定し、学期毎や公開研究授業後に、生徒アンケートや研究協議会で、さらなる改善すべき点を検討し、その改善策を教科や教師個人が提案する。</p>